

会議録

会議の名称	令和4年度 第3回福津市郷づくり推進協議会代表者会議	
開催日時	令和4年9月30日(金)14:00~15:30	
開催場所	市役所別館1階 大ホール	
委員	勝浦：天野保章、荻原哲夫 津屋崎：御厨忠男、坂口勝繁 宮司：坂根康廣、梅野邦彦 福間：佐伯美保、梅谷寧次 神興：富松享一、山西祐司 上西郷：高木文明、畠清喜 神興東：奥弘子、樋口英典 福間南：石橋和義、山本正則	
専任事務局員	勝浦：花田孝信 津屋崎：大神常男 宮司：三原道雄 神興：中村美保 福間(欠席) 上西郷：末廣隆 神興東：宮崎絵美 福間南：宮本清子	
福津市共働推進会議	会長 嶋田 晓文(九州大学大学院法学研究院教授)	
市	原崎市長 まちづくり推進室：石井参事 うみがめ：永島課長、藤野係長、迫田、中村	
事務局	まちづくり推進室：香田理事、向井係長、折居	
会 議	内容	1. 市長あいさつ 2. 依頼・説明事項 (1)「福津市共働推進会議」地域視察について(まちづくり推進室) (2)粗大ごみ有料化・戸別収集について(うみがめ課) 3. その他
会 議	配付資料	<input type="checkbox"/> 「福津市共働推進会議」地域視察について <input type="checkbox"/> 「粗大ごみ収集の有料化・戸別収集」について <input type="checkbox"/> 令和4年度福津市一斉防災訓練各地区訓練概要

会議録

会議内容(要点)

1. 市長あいさつ

市長があいさつを述べた。

2. 依頼・説明事項

(1)「福津市共働推進会議」地域視察について(まちづくり推進室)

まちづくり推進室が、「福津市共働推進会議」地域視察について説明した。

嶋田氏があいさつを述べた。

(嶋田氏)

本日は皆さまの集まりの場に来させていただき、誠にありがとうございます。審議会といたしましても、皆さまのお役に立ちたいという思いでさせていただいている。その中で、皆さまの実情を知ることなく机上で議論しても意味がないというのが私共の共通した認識である。審議会のほうから出向き、現場を拝見させていただいて、いろんなご意見を賜りたいと思っている。私共も、よい答申等を出したいと思っている。引き続きご協力をお願いしたい。

(委員)

諮問内容の2項目目「福津市みんなですすめるまちづくり基本条例」見直しの必要性検討等についてのヒアリングの実施は、予定されていないのか。

(まちづくり推進室)

今回は1項目目(「郷づくり基本構想」の見直しを中心とする郷づくり推進事業における共働のあり方について)に限定したヒアリングを行わせていただく。

(委員)

福津市共働推進会議のスケジュールについて、再度確認させていただきたい。

(まちづくり推進室)

ヒアリングを追加したため、以前お配りしたスケジュールと変わっているが、予定では令和5年度中に答申を受けたいと考えている。令和5年度のスケジュールについては、実施計画の段階であるが、会議の回数については少し増やして要望するような形でまとめていくことを考えている。

(委員)

ヒアリングは、こちらのほうから説明し、質問票に沿った質疑応答というかたちで行うのか。

(嶋田氏)

15分から20分程度各協議会から活動内容等説明いただいた上で、質疑応答というかたちで委員のほうから質問させていただきたいと考えている。お渡ししている質問票は最低限お伺いしたいことであり、お話を聞く中で、分からぬことをお聞きするということもあると思うので、あらかじめご了承いただきたい。今回の一番の目的は、郷づくり推進事業における共働のあり方、郷づくり基本構想の見直しの必要性があるかどうかであるため、今現在の郷づくり推進事業のあり方として、皆さんを感じておられる課題等も示していただけると助かる。また、組織図だけでは見てこないような実際の動きも率直にお話しいただけたらと思う。ヒアリングの内容は要点を簡単にまとめ、協議会に確認していただいた上で公開する予定。

(委員)

前回も話したが、10年経過したので、過去を振り返り、よかつたところや改善したいところを聞いていただいた上で次に進めていただきたい。

会議録

(嶋田氏)

10年間の変化もお聞きしたいと思っている。

(委員)

そもそも郷づくりとは何かを、いかにして地域住民にわかってもらえるか悩んでいる。自治会に入らない人が増えている。そういった組織に入らない人をどうするかという根本的なことも考えてほしい。

(委員)

地域性もいろいろあり、役員も年度ごとに変わるため、常に変化しながら郷づくりもやっていく必要があるのかなと思う。

(委員)

郷づくりそのものが、難しい議論に対応できるのか疑問である。議論は実際の活動とどう結びついていくのか非常に難しいところである。そういったところを、もう少し平たく協議しなければ、協議は協議で終わってしまう。そのような観点からも進めていってほしいと思う。

(嶋田氏)

協議は協議で終わらせないようにするということはおっしゃる通り。基本構想の見直しについてはご提案する。その上で、あくまで腹案であるが、郷づくりの皆さんのがこうしたいという思いに対して、例えばこういったやり方がありうるなどのご提案もしていければと思っている。

(委員)

議事録の取り方について市にお願いがある。第2回の福津市共働推進会議の冒頭で、地域担当職員の議論をされているが、その議論をするきっかけとなった事務局の提案内容について、資料3を参照としか書かれておらず、どのような中身を報告されたのかわからないまま議論が進んでおり読みづらい。少なくとも説明内容は要約をお願いしたい。また、地域担当職員についての役割や機能を議論しているが、市ホームページを見ると、地域担当職員は郷づくりの会議での質問について答える、あるいは助言を行う、というのが主な任務になっている。あくまでも、郷づくりに対して何かがあれば口添えしますよという位置づけでしかない。そのような位置づけを話しているのであれば、地域担当職員と郷づくりの役割はどうだという話にはならないのではないかと思う。市は地域担当職員の位置づけを正確に伝えていただきたい。

(まちづくり推進室)

議事録について前提部分が抜け、議論全体の流れが分かりにくくなってしまい申し訳ない。ご指摘のとおり、次回以降は議論前後の流れが把握できるよう、議事録を作成したいと思う。

(会長)

本日同席していただいている嶋田氏は、共働推進会議でもいろんな質問に対して明確にアドバイス等お答えしていただけた方なので、ぜひたくさんの方に郷づくりの方にご出席していただけるように、お声がけのほうをお願いしたい。

(2)粗大ごみ有料化・戸別収集について(うみがめ課)

うみがめ課が、粗大ごみ有料化・戸別収集について説明した。

(委員)

分別収集は各自治会が行っているが、代表者会議で報告される意図は何か。また、周知徹底の期間が長くとあるが、その間に、どのように周知徹底されるつもりなのか。

(うみがめ課)

代表者会議で報告したのは、各自治会長への説明を、郷づくり単位でさせていただきたいと考えてお

会議録

り、最初に代表者会議のほうで簡単な説明をさせていただいたかったため。9月の回覧で、郷づくりの代表者及び各自治会へ、このような形でありますという報告をさせていただいた。その中で、こちらが出向いて郷づくり単位で説明しますとしているので、代表者会議で説明させていただいている。混雑を避けるため、また、時間をかけて市民に説明する必要があるということで、周知期間を長くしている。

(委員)

代表者会議で説明する理由が、いまひとつ分からぬ。また、周知徹底の方法は何か。

(うみがめ課)

郷づくり単位で市が説明に伺うため、代表者の皆さんにも何らかの質問等があつたりすることを想定して、基本的なことはお伝えしておく必要があるというふうに感じ、代表者会議で説明させていただいた。周知に関しては、郷づくり単位で説明に伺いたいと考えている。102の自治会があるため、ひとつひとつ出向いて説明に伺うのは現実的に難しいが、希望があればこちらから出向いて説明することも考えている。また、広報ふくつ及び市のホームページにも今後掲載予定である。広報ふくつ1月号に、2ページほど割いて、周知させていただこうと考えている。

(委員)

こういうことをやるので郷づくりの皆さんには知つておいてという話なのか、それとも、郷づくりの皆さんに何かをしてほしいという話なのかが分からぬ。今回の話は全市民が対象になる話なので、郷づくりをつかうのであれば反対。そこが見えないのでつづき示してほしい。また、資料8ページの「有料化をしていない自治体は」という部分が、他の自治体がやっているので福津市もやりますという風に見える。福津市ではここが困っているから皆さん協力してほしいというものがない。資料12ページのシール価格の例にも古賀市と新宮町が出てきているが、並ぶ必然性がわからない。市民が一個人として納得するような資料を作成していただき、全市民にしっかり通達されるようにしていただきたい。広報紙や市ホームページに載せると言つていたが、広報紙を見ない人や市ホームページを見られない人もいる。通達の仕方を、郷づくりや自治会よりももっと低いレベルに落とす手立てを考えてもらいたい。

(うみがめ課)

今回の代表者会議での説明は、こういう動きがあつてることを知つておいていただきたいということであり、お願ひではない。また、資料については、古賀清掃工場に搬出しているのが福津市、古賀市、新宮町であるため、古賀市と新宮町を参考に上げさせていただいた。粗大ごみの有料化については、ごみの減量化が一番の目的であるため、他の市町村がやっているからという比較で出したわけではない。周知の仕方については、ご意見をいただいたように、わかりやすい方法を考えたいと思う。福津市のごみの出し方については、広報ふくつ3月号で各戸配布するため、この中で簡単に見やすく入れさせていただきたいと思っている。

(委員)

資料10ページに、玄界環境組合負担金が約2,740,000円減額するとあるが、これとは別にかかると思われる事業者への委託料について、分かれば教えていただきたい。循環型の社会を目指していくには、不要なものは買わないといった市民の意識付けにも意味のあることだと思う。

(うみがめ課)

現時点では清掃業者と契約しているわけではないため、いくらというのが申し上げにくい。契約に関しては、トラック1台いくらという形で考えている。年間何台くらい出るかというのも現時点では明確なお答えができない。

(委員)

料金がかかることでごみを抑えるのはいいが、今まで必要でないものを出していったわけで、残ったものはどこに出すのか。

会議録

(うみがめ課)

おっしゃる通り、既に存在しているものは、やはりいずれ捨てていただくしかない。粗大ごみを有料化する目的の一つに、粗大ごみを有料化することによって、捨てることにお金がかかると頭の片隅においていただことによって、購入の際に、長く使えるものを買おうといった文化が少しでも作れたらという期待も込めてこの制度を導入したいと考えている。

(会長)

各郷づくりに説明に伺うということだが、何月頃を計画されているか。

(うみがめ課)

可能であれば10月から説明に伺えたらと考えている。各郷づくりと都合の調整がつき次第になる。

(会長)

単年度で変わる自治会長も非常に多いため、今年の秋から冬にかけて説明を聞いても、来年度は自治会長ではない可能性が非常に高い。次年度の新自治会長にしっかりと引き継がれるとは限らないということを念頭に置いてもらいたい。

(うみがめ課)

いただいたご意見に関しては、持ち帰り検討したいと思う。

(委員)

資料15ページに、「集合住宅の場合には、市民が管理人に要事前連絡」とあるが、管理人がいない場合もあるため、その部分も説明に加えたほうがいいと思う。

(委員)

粗大ごみでないごみは、ごみ全体のうちどのくらいあるのか、それを減らすためにどんなことを考えておられるのか。また、粗大ごみの各戸収集の際、各家庭の前に出すように書いてあるが、道路占用にならないか。

(うみがめ課)

ごみそのものの減量化ということで、燃えるごみや分別収集で、ごみのリサイクルを進めていくを考えている。燃えるごみについても、既に袋を買うという有料化をしており、令和2年には、ごみ袋の値段を上げさせていただいている。また、道路占用については、現状でも燃えるごみを一時的に置いている状況である。法律的な面に関しては、この場での説明が難しい。

(委員)

タンスなどの大きなものもあるので、注意しておかないと必ず聞かれると思う。また、粗大ごみは全体でどのくらいの割合を占めているのか。

(うみがめ課)

正確な数値を記憶しておらず申し訳ないが、ごみ全体の割合からすると、粗大ごみの占める割合は10%もない記憶している。

(委員)

粗大ごみの占める割合が10%しかないということであれば、ごみを減らしたいから有料化しますという話がにわかに眉唾になってくる気がする。残り9割をどうやって減らすかということも考えていただきたい。

(うみがめ課)

皆さんからいただいた意見は持ち帰り、検討させていただく。燃えるごみの減量についても、何らかの

会議録

方法で市民の皆さんに PR できるように考えたいと思う。

(会長)

管理人が常駐しているマンションには、市のほうから説明はされるのか。

(うみがめ課)

現時点では、考えていない。

(会長)

今の話だと、市民が管理人に伝えるだけだが、管理人が福津市民でなければ、そんなことは知らないということも懸念されるので、そういうところにも周知していただきたい。

(委員)

郷づくりで説明会を行う際は、市が出向いて説明をされるということで間違いないか。そうでないと、運営委員会には自治会長が全員いるため、質問がたくさん出てくる。

(うみがめ課)

間違いない。各郷づくりの運営委員会に職員が出向き、資料を渡して説明させていただき、質問等があればその中で回答させていただきたいと思う。

(委員)

ごみ袋の時もそうだったが、説明があった後も、どんどん質問が来る。その際の連絡先はうみがめ課になると思うが、しっかりと連絡がつくようにしておいていただきたい。

(うみがめ課)

承知した。説明会開催後に質問がある場合は、うみがめ課へ連絡していただくよう伝えたいと思う。

(会長)

以上で説明事項は終わりにさせていただく。

3. その他

(会長)

郷づくり推進協議会が後援に入っている、「リチャリージャパンツアー2022」のコンサートが 11 月 6 日(日)にカメリアホールで開催される。ぜひ、郷づくりでご参加いただければと思う。

(まちづくり推進室)

3 年ぶりに、11 月 5 日(土)に防災訓練を実施することになるが、他地域の取り組みについて分かる範囲で情報提供していただきたいと問い合わせをいただいたため、令和 4 年度一斉防災訓練の各地区訓練概要を配布させていただいた。防災安全課として把握している範囲の一覧である。ご覧いただき、お尋ねがあれば、個別に防災安全課へお問い合わせいただきたい。

(まちづくり推進室)

以上で郷づくり推進協議会代表者会議を終了する。